

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	コミュニティ指導員配置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名	高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	田中政吉
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の育成		所属班	生涯学習班	(内線)	1504
				法令根拠	合志市コミュニティ指導員設置規則			
予算科目	会計	1	10	5	1	事業連番	10764	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
								成果優先度評価結果 10 コスト削減優先度評価結果 6*39
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成7 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 コミュニティにおける生涯学習の振興を図るため、コミュニティ指導員5名を配置する。 【業務の流れ】 旧西合志地域のコミュニティ単位での各種事業を企画立案し、地域の総合的な公民館活動の振興にあたる。 【主な予算費目】 報酬・報償費								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ①須屋・黒石・中央・野々島・合生のコミュニティに各1名の指導員を配置した。 ②各指導員は、コミュニティ活動の企画立案、各講座への指導にあたった。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民(各コミュニティ活動参加者)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 指導助言のための勤務日数 日 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 各コミュニティ活動に参加する市民が、より良い活動ができるようになる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 人口 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) コミュニティ活動に参加する市民が増えていく。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア より良い活動が出来ようになった市民の数 人 → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 活動している生涯学習スポーツ団体数 団体 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		～ 年度
投入量	財源内訳	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	6,156	6,181	5,180	5,170	5,180	5,180		5,180
		うち指定経費	千円	6,156	6,181	5,180	5,170	5,180	5,180		5,180
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		1
		延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30		30
(B) 人件費計	千円	119	119	119	119	119	119	119	119		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,275	6,300	5,299	5,289	5,299	5,299	5,299	5,299		
活動指標	ア 日		1,080	1,080	900	900	900	900	900	目標合計値 22年度	
対象指標	ア 人		28,000	28,500	29,000	29,000	29,000	29,000	29,000		
成果指標	ア 人		未集計	未集計	25	28	31	33	35		
上位成果指標	ア 団体		376	297	380	338	380	390			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成7年4月に、旧西合志町のコミュニティ活動支援のため、5つの各コミュニティに配置された。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
当初1コミュニティに1名の配置であったが、須屋地区の人口が格段に多く、生涯学習活動のニーズに応えるべく妙泉寺体育館の建設もあり、学習講座数が増加する須屋地域のコミュニティには平成18年度から2名配置となった。
しかし、機構改革、班制の施行により、妙泉体育館の管理はスポーツの部門とすることになり、コミュニティ指導員の業務の一部が縮小することになったため、20年度からは指導員配置を1名に戻すことになった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
コミュニティ活動の拠点施設のうち、須屋市民センターは建て替えが実現し、地域のニーズに応えられたが、施設が手狭で老朽化している黒石、野々島の施設改善を要望する声が地域住民から多い。

事務事業名	コミュニティ指導員配置事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 指導員の配置は、コミュニティ活動の振興、市民の生涯学習活動の推進につながるため、政策と結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 指導員の配置により、各コミュニティ活動を特色あるものにしていくことで、よりよい生涯学習活動の推進ができるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図とも現状では適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 旧西合志町は伝統的にコミュニティ単位での生涯学習活動を推進してきた経緯があり、地域住民もこの活動に多く参加している。指導員をはじめ、地域住民の力を合わせてつくられており、これ以上の成果は得がたいと思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ①コミュニティにおける生涯学習活動が沈滞する。 ②各学習講座の施設利用調整が出来ず、施設の有効利用が損なわれる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 職員の経験や力量によって左右される事業であるため、指導員の資質向上のみにより成果が上がっていくと思われる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 非常勤職員の報酬により事業を行っており、20年度以降須屋地域の指導員を1名削減し、必要最小限の職員数であるため、これ以上の削減は困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 非常勤職員は必要最小限の職員数であるため、これ以上の削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 指導員は、コミュニティ活動全体のために業務を行っているため、公平公正を旨としている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切と思われる。 ②有効性については、おおむね有効と思われる。 ③効率性については、おおむね効率的と思われる。 ④公平性については、公平と思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策				
----------------------------------	--	--	--	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	7	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)